

令和7年度 下北小学校学校教育全体構想

1 経営の基本方針

臼杵市の教育ビジョン「3つのきょう育」を推進し、「信頼」「共創」「活力」を経営の基盤に据えて、教職員一人一人が、強い使命感と情熱をもち、チームとしての教育を進めるとともに、学校・地域・保護者・関係機関が連携して、「学ぶ力」（生きて働く知識・技能の習得）「たくましさ」（未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成）「誠実さ」（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養）を身に付け、この困難な時代にしなやかに対応できる、ふるさと臼杵が大好き"下北っ子"の育成を図る。

2 学校経営ビジョン

チーム下北

信頼される学校

○研修の充実と課題に沿った具体的な取組により、教師力・授業力向上させ、
保護者・地域から信頼される学校を創る
・学校研究の充実、推進と授業改善
・互見授業、観察授業の充実、推進
・省熟度別、教科担任制の推進
・個に応じた指導の組織的計画的な取組

共に創る学校

○教職員一人一人が経営参画するとともに
保護者・地域と連携して学校を創る
・経営参画意識をもった分掌提案の充実
・学校運営協議会の活性化
・うすきふれあい学校の充実
※北ブロック幼保小中一体教育の推進
(こども園・支援学校・高校との連携)

活力ある学校

○夢や希望をもち、生き生きと学ぶ楽しさを実感できるように教育課程を編成・実施し、積極的に地域等の人材活用を図り、
地域と共に活力ある学校を創る
・郷土の教材、人材の発掘と活用
・体験活動等、本物に触れる活動の充実

3 学校教育目標

郷土を愛し、仲間と共に、学び合い、高め合い、認め合う下北っ子の育成

4 めざす子ども像

しっかりと話を聞き、仲間と共に、考える子、頑張る子、思いやりのある子

～合言葉～ にほんいちのえがおをめざそう！

考える子(学び合う)

- ・生きて働く「知識・技能」の習得
- ・**主体的に学ぶ意欲の育成**
- ・対話的な学びの過程での実現
- ・習得、活用、探究の中での深い学びの実現
- ・積極的に体を動かす意欲の育成

がんばる子(高め合う)

- ・未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
- ・**自らめあてをもち、最後までやりぬこうとする意欲の育成**
- ・互いに協力し、高め合う学級集団づくり

おもいやりのある子(認め合う)

- ・学びを人生や社会に生かすとする「学びに向かう力・人間性」の涵養
- ・**すすんであいさつができる心の育成**
- ・遊びや運動を通して、相手の気持ちを考えて行動できる感性の育成
- ・いのちやもの、**言葉を大切に**できる感性の育成

5 めざす子どもの具現化構想

本年度経営の重点

学び合う子どもの育成

- ・**学習規律の徹底**
- ・話を聞く（聞く）力の伸長
①日常的なSSTの実践
②校内研修との連動
- ・新大分スタンダードに則った授業を行い、**特別支援の視点をふまえた授業の日常化**を進める
- ・特別支援教育の視点による、個に応じた指導の充実・定着のための継続的な実践と家庭との連携

高め合う子どもの育成

- ・大分県版人間関係づくりプログラム、QU分析を活用した親和的な学級集団の育成
- ・児童会の活性化による、互いに高め合ううつする集団づくり
- ・平和を愛し、互いの考え方を尊重して、生かし合う心情と実践力の伸長
- ・**授業を通してコミュニケーション能力の育成**
- ・聞く力を基盤とした表現能力の育成

認め合う子どもの育成

- ・大分県版人間関係づくりプログラム、QU分析を活用した親和的な学級集団の育成
- ・道徳を学校研究の中心に据えた取り組み
- ・人権・同和教育を通して、「認め、褒める、励ます」取り組みの工夫
- ・平和や運動による自尊感情の向上
- ・**あいさつ、感謝の気持ち、互いを認め合う言葉遣いの伸長**
(北ブロックにこにこあいさつ運動の取組)

教職員の使命感と情熱ある指導

- ・一人一人のよさや伸びを認め、個性の伸長に努める
→『褒めて育てる』
- ・専門職としての使命感をもち、個々の「強み」を生かし合って子どもを伸ばす
→全国平均の学力・体力を見童一人一人が身につける
- ・成果と課題を見極め、情熱とこだわりをもって改善する
→学ぶ教師だけが児童を導ける
→子どもたちが自慢できる教師集団をめざそう！

対話力の育成

家庭・地域との連携、幼小中一体教育

- ・基本的生活習慣および家庭学習の習慣化の徹底を図る
→家庭学習の手引きの周知・読書活動の充実
- ・学校便り、学校HPの充実、児童の実態や変容を共有
→家庭、地域への情報発信・tetoruの活用
- ・ふれあい学校、連携行事の実施・充実
→ゲストティーチャーの招請
- ・北ブロック幼保小中一体教育の推進
→こども園・高等学校との連携強化

磨き合う・高め合う・支え合う 教師集団
学年・クラスを超えた全職員での関り

「3つのきょう育」（郷育・協育・響育）を
最適なタイミングで

学校運営協議会（コミュニティースクール）の取組